

説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 わすれ物を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

わすれ物をへらそうと、前の夜に持ち物をそろえていた。それでも、朝になって足したハンカチや給食ぶくろをわすれてしまう。そこで、げんかんのすみに置き場を作り、出かける直前にそこでたしかめることにした。かべにはった持ち物の表は、すぐに見なくなったが、置き場なら毎朝目に入る。

- 1 わすれ物は、前の夜のうちに、持ち物の表でたしかめるとへる。
- 2 わすれ物は、前の夜のうちに、置き場でたしかめるとへる。
- 3 わすれ物は、出かける直前に、置き場でたしかめるとへる。
- 4 わすれ物は、出かける直前に、持ち物の表でたしかめるとへる。

2 切りかぶを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

切りかぶの年輪は、南側の間が広いので方角が分かる、と言われることがある。しかし、実さいには北側が広い切りかぶも少なくない。年輪のかたよりは、日当たりよりも、木が立っていた地面のかたむきや、風の強さによって生まれることが多いのだ。

- 1 年輪のかたよりは、えだのつき方のちがいで生まれやすい。
- 2 年輪のかたよりは、地面のかたむきや風で生まれやすい。
- 3 年輪のかたよりは、日当たりのちがいで生まれやすい。
- 4 年輪のかたよりは、木の種類のちがいで生まれやすい。

3 発表を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

クラスで発表するとき、言うことを全部原こうに書いて読んだ。まちがえずに読めたのに、聞いている人はだんだん下を向いていった。次は、言いたい言葉だけを短くメモし、みんなの顔を見ながら話した。すると、うなずく人がふえた。

- 1 発表は、まちがえないように練習を重ねると伝わる。
- 2 発表は、聞く人に問いかけながら話すと伝わる。
- 3 発表は、はじめに言いたいことを言ってから話すと伝わる。
- 4 発表は、短いメモを見ながら顔を上げて話すと伝わる。

4 町の地名を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

わたしの町には「かじ町」「大工町」のような地名が残っている。昔の地図と見くらべると、そこには、かじ屋や大工の家が集まっていたことが分かる。今はふつうの家がならび、見ただけでは分からない。けれど地名は、そこで昔どんな仕事かさかんだったかを、今に伝えているのである。

- 1 地名から、その場所で昔さかんだった仕事分かる。
- 2 地名から、その土地が昔どんな天気だったかが分かる。
- 3 地名から、その場所で昔さかんだった祭りが分かる。
- 4 地名から、その土地が昔どんな地形だったかが分かる。

説明文の 要旨をえらぼう【こたえ】

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

前の夜にそろえても『朝になって足した』物をわすれた。表は『すぐに見なくなった』。『出かける直前に』置き場で『たしかめる』ことにした、とあります。

2 答え：2

『北側が広い切りかぶも少なくない』とあり、かたよりは『日当たりよりも…地面のかたむきや、風の強さによって生まれる』とまとめています。

3 答え：4

原こうを『まちがえずに読めたのに』下を向かれた。短いメモで『顔を見ながら話した』ら『うなずく人がふえた』とあります。ほかは、本文に書かれていないか、本文と食いちがいます。

4 答え：1

「かじ町」「大工町」には『かじ屋や大工の家が集まっていた』。地名は『昔どんな仕事がさかんだったかを、今に伝えている』とまとめています。ほかは、本文と食いちがうか、本文に書かれていません。

読み取るコツ

「しかし」「けれど」のあとや、終わりの文から、言いたいことをつかみます。